

小国町立小国小学校 3年

総合的な学習の時間における GIGA 端末を活用した授業展開



日 時：7月19日（月）14:00～14:45

場 所：小国小学校ランチルーム

対 象：小国小学校3年1組

授業者：宮地 淳

1 小国町立小国小学校・児童の実態

小国小学校：15学級、児童数291名

3年1組では、授業支援クラウドの「ロイロノート」を4月末から学習で使い始め、全ての教科で利用してきたことで、テキストカード、写真を使って学習の様子を記録したりすることなどの操作スキルが高まってきている。文字入力、ローマ字の学習を始めたばかりなので、ひらがなのソフトキーボード入力をしている。

2 学校研究

研究主題：自ら考え、共に学び合う子どもを育成する授業

～ICTを活用して、考え、伝え認め合う授業づくりを通して～

<視点1>自分との対話を引き出す工夫

<視点2>他者との学びを通して思考を深める工夫

3 単元名・単元の目標

単 元 名：小国のめぐみを調べよう

単元の目標：自分たちが給食で食べている小国産の食材について調べ、小国町の食糧生産にかかわる人々との関わりを通して、地産地消に関する取り組みについて考え、人々の思いや願いを理解するとともに、地産地消を意識しながら行動したり生活したりできるようにする。

4 単元計画（全32時間 本時8時間目）

- ① 小国産の食材を調べよう（6時間）
- ② 「小国産」いいところ調査隊～小国産の食べ物を調べよう～（18時間）
- ③ 「小国産」のよさを伝えよう（8時間）

5 主に活用した機器・コンテンツ

- ・ iPad（一人一台端末を使用）
- ・ 大型提示装置（教室備え付け）
- ・ ロイロノート

6 本時の指導

(1) 目標 小国牛に関する初発の疑問を視点毎に整理し、調べ学習の課題を設定することができるようにする。

(2) 指導過程

時間	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器 コンテンツ	情報活用能力
導入 A 1 B 1	●学習のめあてを知る 小国牛の「ハテナカード」を整理して、はんで調べることをきめよう。	○学習計画を確認し、本時の学習課題をつかめるようにする。 ○前時まで一人一人の知りたいことを「ハテナカード」として集めて、カード作成の状況がわかるように電子黒板に個々のカードを表示する。	・iPad ・大型提示装置 ・ロイロノート 	・A1 ①b ステップ1 電子ファイルの呼び出しや保存
展開 20分 A 1 B 4 C 1 C 2	●課題づくりの視点を知り、調べることを整理する ●班で調べたいことを集約する	○ロイロノートのシンキングツールを提示し、分類しやすいようにする。 ○分類例を示し、イメージできるようにする。 ○カードの整理状況を見て、他の児童の例を紹介したり、教師から例を示したりする。 ○班用の新しいシンキングツールを使用し、まとまりがわかりやすいようにする。 ○各班の進捗状況を電子黒板に映す。	・iPad ・大型提示装置 ・ロイロノート  ・iPad ・大型提示装置 ・ロイロノート 	・A2 ①c ステップ1 共通と相違、順序などの情報と情報との関係 ・A2 ①g ステップ1 情報を組み合わせて表現する方法
まとめ 10分 A 1 B 4	●本時の学習についてまとめ、振り返りをする	○振り返りをロイロノートにポートフォリオし、評価に生かせるようにする。 ○栄養教諭から学習の評価をもらい、学習の価値づけができるようにする。	・iPad ・大型提示装置 ・ロイロノート 	・A2 ②b ステップ1 情報の活用を振り返り、良さを確かめること

【一斉】A1：教員による教材の提示

【個別】B1：個に応じる学習 B2：調査活動 B3：思考を深める学習
B4：表現・制作 B5：家庭学習

【協働】C1：発表や話し合い C2：協働での意見整理 C3：協働制作
C4：学校の枠を超えた学習

文部科学省「学びのイノベーション事業報告書 学習場面に応じた ICT 活用事例」より

文部科学省「【情報活用能力の体系表例（IE-School における指導計画を基にステップ別に整理したもの）】（令和元年度版）全体版」より